



英知  
誠実  
健康

学校だより

# 若鷹

尾張旭市立旭中学校

平成 29 年度 5 月号

## 変化

新しい年度がスタートして1か月、学校の中には、いろいろな変化が見られます。まず、時間のことで言えば、全体的に余裕をもって登校できるようになっています。ほとんどの生徒が 8:25 の予鈴（始業5分前）が鳴った時には、校内にいます。朝練習を終えて教室に向かう生徒も余裕があり、慌てて教室に走り込む生徒もいません。清掃のことで言えば、これまで以上に校内がきれいな状態です。みんなで「きれいにする清掃」ができているのではと思います。あるクラスに「清掃の時間は心を磨く時間」とありました。今、10分間の清掃の時間が、心を磨く時間になっている生徒が多いのではないのでしょうか。

こうした変化は、すべて「意識すること」から始まっています。何事も「やらされている」と捉えてしまえば、不満が出て、ブレーキがはたらきます。「自分ができることを」「自分が！」と意識すれば、それはアクセルとなり行動が主体的になります。まだ始まって1か月。これから先、それぞれの中に後退する変化も起きてくるでしょう。そんな時、立ち止まって自分の状態、心の状態を客観的に見るのが大切になってきます。そして、再び「自分が！」と意識をすることから始めてみてください。



校長 水野 茂

学生のあなたたちは、そうした変化を繰り返しながら成長していきます。

## 家庭訪問

### ありがとうございました



家庭訪問を終えて帰ってくる先生たちからは、「疲れた～」という感じより、「保護者さんとお話できてよかった」といった様子うかがえます。この時期に学校から足を運び、直接保護者さんとお話できる「家庭訪問」を、旭中学校は大事にしています。訪問時間が5分～10分程度と短いため、担任の先生は伝えたいことを事前にまとめ、ご家庭からのお話をしっかり聞けるよう準備します。この短くも密度の濃い時間を保護者さんと共有することで、家庭と学校が「手を携えていきましょう」とスタートできるのが「家庭訪問」です。

期間中、地区ごとに訪問日時を指定させていただいたことから、お仕事をお休みいただいたり、調整していただいたりしたご家庭も多かったと思います。「家庭訪問」のために、ご協力いただき、本当にありがとうございました。

## さりげなく

保健室の先生が見かけた光景です。朝の健康観察が終わったあと、各クラスの欠席状況を、係の子が職員室の廊下にある用紙に記入します。その用紙の位置が少し高く、1年生の子が書きづらそうにしていたところ、その場にいたひとりの女子生徒が「ハイ」といって記入用紙を下にさげたそうです。その感じが、なんともさりげなく、その子にとって当たり前の行動のようであったことに保健室の先生はたまらなくうれしかったそうです。

困っている人を見かけたとき、さりげなく声をかけたり、力を貸したりできるすてきな大人に近づいている生徒は少なくないように思います。

地域での旭中生の姿、オオツという姿も残念な姿も、気づかれましたら学校までお知らせください。

旭中学校 53-2910 (教頭 寺尾)